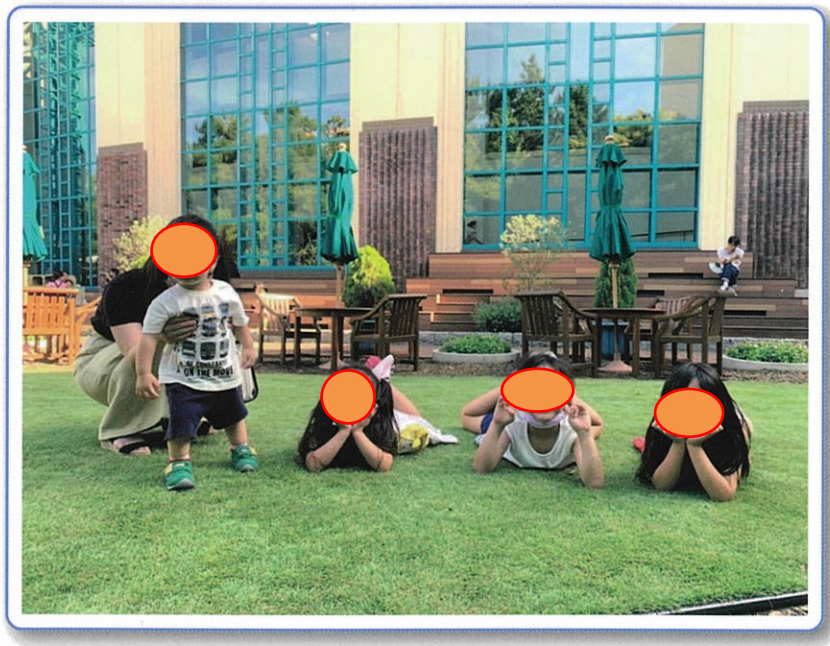


特定非営利活動法人

あきた子どもネット 活動報告



2023



目次

令和4年度福祉医療機構助成金事業報告	2
【1つめの柱】産前産後ケア	3
アンケート集計結果・子育て世帯宿泊ケア	5
アンケート集計結果・子育て世帯マッサージケア	7
【2つめの柱】子どもの体験活動	9
アンケート集計結果・11/13(日)第1回『仙北こどもフェスタ』	11
アンケート集計結果・1/14(土)第2回『仙北こどもフェスタ』	13
【3つめの柱】子育てサポート	17
【4つめの柱】シンポジウム	21
私の提言・NPO法人いきいきFネット秋田 佐藤 加代子	25
活動の評価	27
事業企画イメージ	29

「子ども・子育て世代への応援事業」報告

長きにわたり社会課題として叫ばれている日本の少子化。その日本のなかでも秋田県は顕著に少子化が進んでいる。賃金の低さや就労企業が少ないことによる若者の県外流失、若者が減少することによる出生率の低下、婚姻率の低下、人口の社会減等、少子化へつながる原因は一言で説明できない難しい状況だ。価値観の多様化に伴い、生涯未婚を自らの意思で選ぶ大人、子どもをもたないことを選ぶ夫婦、多様な生き方を選択しやすい社会になってきた今、育児者に対しての必要なサービスの要望や提供を考察するため令和4年度福祉医療機構の助成事業を受託し、多様な事業実施から応援できるスキルや体制を考察した。

本県在住の若者数人は、「今の生活では、子どもを育てられる所得がなくて不安。」
「家事でさえ恋人と喧嘩になるのに、育児となったらもっと精神的に追い込まれてしまう。」
「子どもは好きだし、生まれたら大切にしたい。でも経済的・精神的に余裕がなくなったら、子どもに嫌な思いをさせてしまうかもしれない。」と不安を募らす。


現在育児中の親は、「子どもが日中も夜中も動き回り、私自身が十分休息できない」と疲れ切っている。現在が子育てしにくい社会ゆえの少子化なのだとしたら、それは社会問題だ。

子ども支援、子育て支援における課題は年々多様化・複雑化し、支援者の私たちも多様な視点を持つ必要に迫られている。

令和4年度事業展開における成果と課題

今回助成を受けるに当たり、4つの柱立て目標を持った。

1. 産後育児の不安が軽減される。
2. 子どもの体験活動の機会が増える。
3. 一人親等への食料支援や学習支援を通して、子育てサポートをする。
4. 子育てシンポジウムの開催による支援体制への提言。



1つめの柱

産前産後ケア

1の柱立てについて

産前産後の不安が多い時期に子育てに困り感を抱えている保護者に対して専門スタッフが関わり一時預かりや伴奏者としてサポートを行うことを目的に、助産師の相談支援やマッサージモニター体験時の預かり保育、1泊2日の18か月までの乳幼児を持つ育児者の宿泊モニター体験を実施した。広報は主に秋田県児童会館内のポスターや育児イベントでの告知、来館者へのチラシ配布などで、募集し、定員を5組とした。

11月と翌年1月ホテルでの一泊イベント

11月の宿泊ケアにおいては、広報後1週間程度で定員となったが、当日乳児の体調不良と家族のコロナ感染などで3組のキャンセルがあり、急遽参加者の知り合いに連絡し1組増え3組の参加となった。乳幼児を対象とする場合は起こりうる事態だが、当日キャンセル料を取られるため今後は綿密な計画が必要と反省した。乳児のための助産師・保育士などもお願いしていたため、今後法人で産前産後ケアの事業を行うと経費問題をどのようにしていくか自治体との経費持ち分をどう交渉するか、など先行きの不安も課題として残った。

1月の宿泊ケアは11月の反省も含め、申し込みを2週間前とした、募集対象は同じ5組であるが、11月募集は無料宿泊ケアだったが、1月は一部負担ありの宿泊ケアとし、大人1名に付2,000円、4歳以上の幼児は1,000円負担とした。新年あけて1週間ほどで5組の申し込みがあり、定員となった。乳児4名、13か月の幼児1名を含む5組だったが、マッサージケアをお願いしていたマッサージ師さんの家族が新型コロナウイルスに感染し、マッサージなしの宿泊ケアとなった。代わりに子供たちと折り紙や新聞やぶり等で1時間ほど遊び、その間、育児者にはティータイムなどでゆっくりしてもらった。翌日の朝食の時間帯も乳児を預かり、ゆっくり食事ができたと好評を得た。11月の経験があることで、サポートする保育士や助産師が子どもとのかかわりに余裕が出て、ゆったりサポートできた点は成果である。

助産師による個別サポートを計画したが、助産師会では過度な接触を出来るだけ避けるようにとのことと、産後の育児者もコロナを警戒するところがあり、児童会館内での助産師の相談室を設けることで、代用した。新型コロナウイルス感染症も重症者が減少してくると育児者の警戒心も少なくなり、法人で借りていたアパートで育児疲れのケアとしてマッサージケアを始めた。コロナの感染状況をみながら秋田県児童会館内にチラシを貼り募集をしたが、口コミで広まってくると3月の募集はすぐに定員になった。事業が終了してからもマッサージ希望の育児者から問い合わせは続いている。育児ケアの必要性や需要はかなりあるが、行政からの補助をどう取り付けていけるか、どう周知するか課題がたくさん見えた。



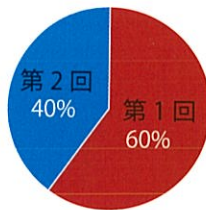
I. アンケートの概要

対象	2022/11/12(土) および 2023/1/14(土) 実施『子育て世帯宿泊ケア』のモニター参加者
回答期間	2023/2/9(木)~2023/2/28(火)
実施方法	来場者へメールを送り、URL リンク先の Web フォームへ回答入力を促した。
回答数	5 件 (モニター参加組数 6 組)

II. 質問の内容

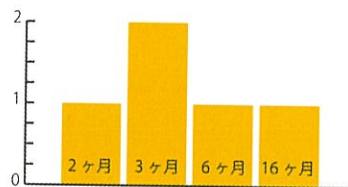
[Q1]

2022 年度『子育て世帯宿泊ケア』モニター参加について、どちらの日程を利用しましたか？【※複数回答可※】
 ・【第1回の日程】2022/11/12(土)~11/13(日)
 ・【第2回の日程】2023/1/14(土)~1/15(日)



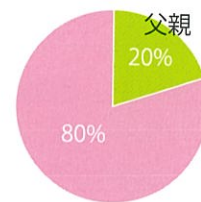
[Q2]

ご参加の対象となった乳幼児について、参加時点における月齢(生後〇ヵ月)をご入力ください。



[Q3]

ご参加の対象となった乳幼児について、日常ではどの方がお世話として関わることが多いですか？
 ・母親 ・父親 ・祖母
 ・祖父 ・その他(自由記述)



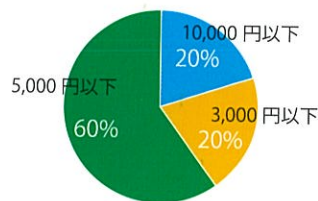
[Q4]

[Q3] で回答された乳幼児のお世話をすることが多い方について、ご年代はどれに当てはまりますか？
 (1つ選んで回答)
 ・10代 ・20代 ・30代 ・40代
 ・50代 ・60代以上



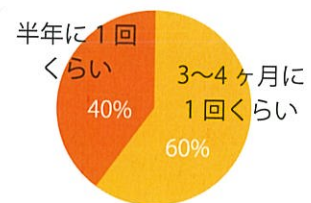
[Q5]

このような宿泊ケアイベントについて、一部参加費負担をお願いする場合、最大どのくらいまでの金額なら参加すると思いますか？
 ・費用負担がある場合は、参加しないと思う
 ・1,000 円以下 ・3,000 円以下
 ・5,000 円以下 ・8,000 円下
 ・10,000 円以下 ・15,000 円以下



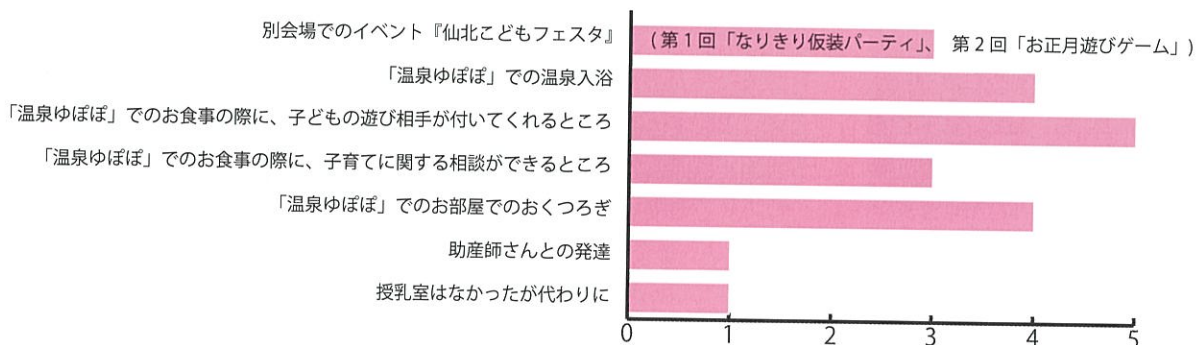
[Q6]

このような宿泊ケアイベントが定期的にあるとした場合、どのくらいの頻度で参加したいと思いますか？
 (1つ選んで回答)
 ・年1回くらい ・半年に1回くらい
 ・隔月くらい ・毎月



[Q7]

この宿泊ケアイベントについて、どのような場面や体験が良いと感じましたか？
 次の選択肢から選んで回答(複数回答可)



[Q8]

こういうのがあったら楽しい、こういうがあると助かる、等のご要望がございましたらご記入ください。(自由記述)

(回答1)

子供の月齢によって、求めるものが変わると思いますので、子供の年齢層がある程度絞ったほうが良いかと思いました。

子供の月齢が0-6ヶ月くらいまでの時:考えていたこと:まとまった睡眠時間が欲しい、食事をゆっくり食べたい、気の張らない時間が欲しい、とにかく心身ともに疲れ切っている。

- 食事、入浴時含め、預かって欲しいタイミングで預けられるサービス
- 夜中に泣き止まない時にも相談できるサービス (これはオンラインでもできるかも)
- SIDS が心配な時期でもあり、助産師さんや、病院にあるような呼吸のアラーム付きのコットがあると安心。
- 宿泊の準備と移動すら大変な頃なので、参加するなら連泊したい。

月齢 12-18 頃:

余裕が出てきたり授乳の回数も減ってはいるので、宿泊型ケアで受けたいこととしては

- 食事の際の預かりサポート (子供と一緒にだと、結局親のところにくるので遊び相手 手がいてもゆっくりご飯は食べられません)
 - 入浴時の預かりサポート (子供が浴場でケガしないか、転ばないかずっと気にかけており、安心して入浴できなかった。)
- なので、この頃についてはケアしてほしい、というより、託児室がある、という程度でよいかも、と思います。

参考までに、今東京で増えている民間の施設やケアホテルのウェブサイトの URL です。(すごい高いので、お金持ち向け?かなと)

<https://www.mom-garden.jp/>

<https://mamma-levata.com/>

ほか、市の補助を利用して、6泊7日まで産婦人科宿泊できるサービスを利用したことがあります。大人と話せて、テレビ見たらんびりできて、ナースコールで子供を連れてきてもらったら預けたりでき、とても助かりました。(1泊2日6万円、補助利用して1泊2日6千円でした。)

<https://www.higashifuchu-hp.jp/sp/hospitalization/>

(回答2)

男性浴場でのおむつ替え台があるとよい。また任意参加で親だけの雑談会があると楽しい。



I. アンケートの概要

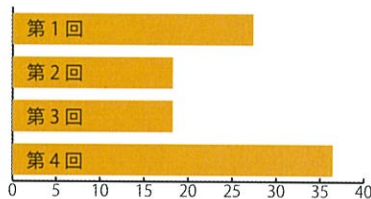
対象	2022/12/12(月)~2023/3/13(月) 実施『子育て世帯マッサージケア』のモニター参加者
回答期間	2022/12/12(月)~2023/3/13(月)
実施方法	来場者へ QR コード提示またはメールを送り、URL リンク先の Web フォームへ回答入力を促した。 もしくはモニター利用後に聞き取り調査を行った。
回答数	11 件

II. 質問の内容

[Q1]

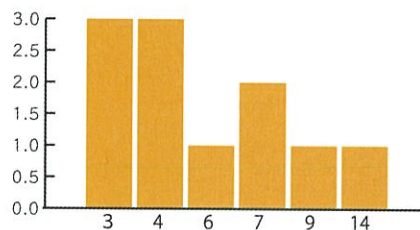
2022 年度『子育て世帯宿泊マッサージケア』モニター利用について、どの日程を利用しましたか？【※複数回答可※】

- ・【第 1 回の日程】2022/12/12(月)
- ・【第 2 回の日程】2023/2/13(月)
- ・【第 3 回の日程】2023/2/27(月)
- ・【第 4 回の日程】2023/3/13(月)



[Q2]

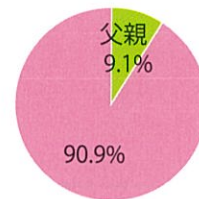
ご参加の対象となった乳幼児について、参加時点における月齢(生後〇ヵ月)をご入力ください。



[Q3]

ご参加の対象となった乳幼児について、日常ではどの方がお世話として関わることが多いですか？

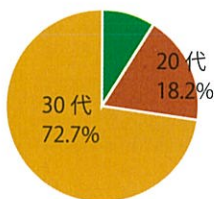
- ・母親
- ・父親
- ・祖母
- ・祖父
- ・その他(自由記述)



[Q4]

[Q3] で回答された乳幼児のお世話をを行うことが多い方について、ご年代はどれに当てはまりますか？

- ・10代・20代・30代・40代
- ・50代・60代以上



[Q5]

このようなマッサージケアイベントについて、一部費用負担をお願いする場合、最大どのくらいまでの金額なら利用すると思いますか？

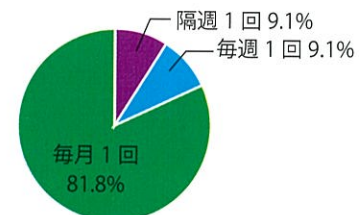
- ・費用負担がある場合は参加しない
- ・1,000 円以下の費用負担まで
- ・2,000 円以下の費用負担まで
- ・3,000 円以下の費用負担まで
- ・4,000 円以下の費用負担まで
- ・5,000 円以下の費用負担まで



[Q6]

このようなマッサージケアイベントが定期的にあるとした場合、どのくらいの頻度で利用したいと思いますか？

- ・半年に 1 回くらいで利用したい
- ・3~4 ヶ月に 1 回くらいで利用したい
- ・隔月に 1 回くらいで利用したい
- ・毎月 1 回くらいで利用したい
- ・隔週に 1 回くらいで利用したい
- ・毎週 1 回くらいで利用したい



[Q7]

こういうのがあったら楽しい、こういうがあると助かる、等のご要望がございましたらご記入ください。

自由記述として記載された内容を、回答ごとに次へ記載する。

(回答 1) 宿泊での託児、育児相談や交流できる場所が欲しい

(回答 2) 美容院での託児

(回答 3) 買い物での託児

(回答 4) マッサージが終わってティータイムの中では同じ子育て中の親同士話が弾んだ。

夜泣きのことミルクの回数やぐずりなど、年配の人から頑張ってることを褒められると嬉しいし、ご褒美がある子育てはまた次のマッサージまで頑張ろうという話になった。



2つめの柱

子どもの体験活動

2の柱立てについて（子どもの体験活動の機会が増える）

育児の心理的・肉体的負担の軽減と他者の親子関係を学ぶ場として、11月と1月に子育てフェスタを仙北市で開催。みそたんぼやおしるこ等郷土料理に親しむことを提供。2回を通して子育てフェスタは参加者は11月イベント申込85名（当日65名）1月イベント申込み60名（当日45名）

仙北こどもフェスタは仙北市議会議員への訪問と協力願ひから、行政担当者への依頼、宿泊及びフェスタ会場予定ホテルへの依頼と打ち合わせなど早くから準備をはじめ、協力スタッフと夜のズームミーティングも数回行い、イベントの共有を図りながら当日を迎えたが、コロナ過でもあり参加者の期待値や不安が多くあったためか、楽しめず帰った参加者も数組いた。子どもが生き生きと遊び、親が少しでもゆっくりする時間を持てることが事業の目的であったため、楽しめず帰った親子に対して申し訳ないと感じた。

課題として、盛り沢山の事業を計画したが、対象者を幼児、小学生、中高生とターゲットを決めて内容を考慮した計画で募集する必要性があった。

「仙北こどもフェスタ」ではスタッフが自分の役割はわかっているも他のスタッフの役割内容を十分理解できないまま当日を迎えたため、参加者に色々尋ねられて困惑した報告も挙げられている。

仙北市福祉課の職員に2回のイベントどちらも参加見学に来てもらったが、「とても良い企画で行政ではここまで多様で幅広いイベントは難しい」と賞賛していたが、「次年度行政が主体になって事業をするのであればお手伝いしますよ」との提案には乗り気ではなかった。行政担当者も仕事が増えるのは困るようだ。

成果として、非日常を体験できるイベントに育児者の要望は高く満足度も高い。

子どもの体験活動

畑のサツマイモ苗植えやネギ・スイカ・さつまいもの収穫体験

子育て期の親子を対象として当法人が借りている潟上市天王の畑（300a）で、野菜の種まき・収穫体験を実施。コロナ禍でもあり、参加者を6組に限定した。サツマイモやトマトきゅうり等の植え付けには3組10人が参加。スイカの苗に防虫ネットをかける作業は2組6名とボランティア2名が参加した。スイカの収穫予定の時期に雨続きでスイカが水につきりほぼ全滅。ボランティア高校生2名で後片付けをした。10月の収穫予定時期も雨模様となり1週間延期としたが学校行事等と重なり、1組の参加となった。



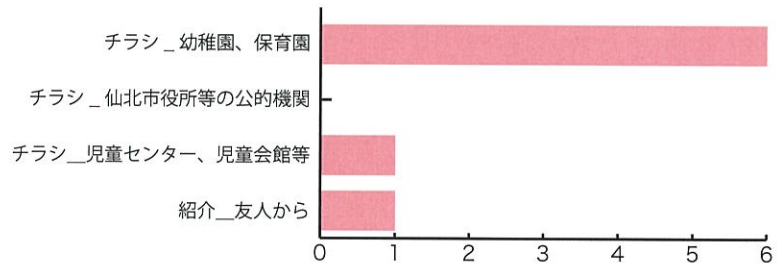
I. アンケートの概要

対象	2022/11/13(日)実施の第1回『仙北子どもフェスタ』へのご来場者
回答期間	2022/11/17(木)~2022/11/30(水)
実施方法	来場者へメールを送り、URLリンク先のWebフォームへ回答入力を促した。
回答数	8件(イベント来場組数19組)

II. 質問の内容

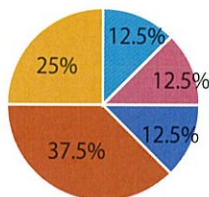
[Q1]

本イベントをどのようにお知りになりましたか?近いと思うものを選択してください(複数回答可)。



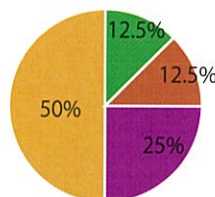
[Q2]

大人の視点として、催物のうちどれが一番楽しい一番面白いと感じましたか?



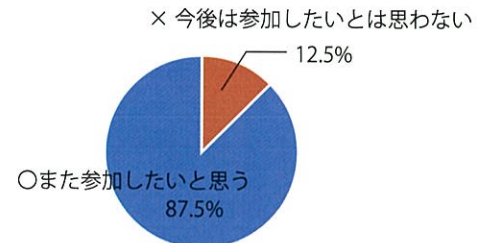
[Q3]

子どもの様子を見て、催物のうち子どもはどれが一番楽しそうにしていると思いましたか?



[Q4]

イベント全体の印象としては、また参加したいと思えるイベントでしたか?



次の選択肢から1つ選んで回答

- 『おもちゃと絵本のコーナー』_積み木、カプラ、絵本、おもちゃ等が置いてある
- 『衣装グッズ工作』_色付きポリ袋で衣装衣装等を工作する
- 『巨大エアートランポリン』
- 『バルーン的当てゲーム』_バルーンアートにオモチャ銃での当て
- 『なりきり衣装フォト』_貸出衣装でスクリーンの前で写真を撮る
- 『きりたんぼづくり体験』_味噌きりたんぼをつくる
- 『ローカルヒーローショー』
- その他(自由記述)

[Q5]

その他、ご要望、ご感想がございましたらご入力ください。(自由回答)



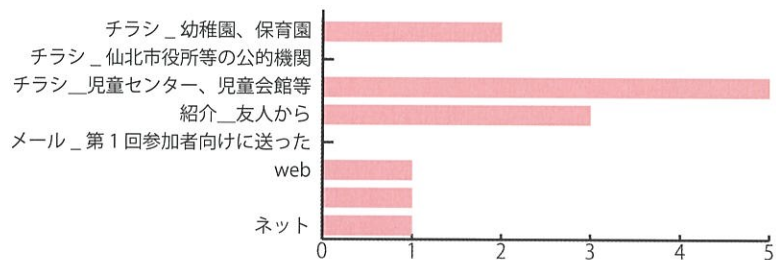
I. アンケートの概要

対象	2023/1/14(土)実施の第2回『仙北こどもフェスタ』へのご来場者
回答期間	2023/1/14(土)~2022/1/31(火)
実施方法	イベント当日の退場時にQRコード提示とともに説明のうえ、リンク先のWebフォームへ回答入力 を促した。また2023/1/17(火)に来場者へメールを送り、URLリンク先のWebフォームへ回答入力を促した。
回答数	13件(イベント来場組数13組)

II. 質問の内容

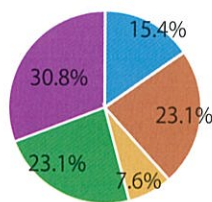
[Q1]

本イベントをどのようにお知りになりましたか？近いと思うものを選択してください(複数回答可)。



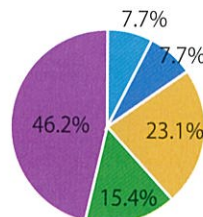
[Q2]

大人の視点として、催物のうちどれが一番楽しい一番面白と感じましたか？



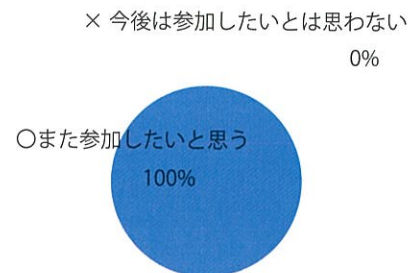
[Q3]

子どもの様子を見て、催物のうち子どもはどれが一番楽しそうにしていると思いましたか？



[Q4]

イベント全体の印象としては、また参加したいと思えるイベントでしたか？



次の選択肢から1つ選んで回答

- 『カブラと絵本のコーナー』_積み木、カブラ、絵本、等が置いてある
- 『正月おもちゃのコーナー』_コマ回しや福笑いがある
- 『羽子板まとあて』_羽子板を使ってまとあてをする
- 『うさちゃん輪投げ』_ニンジンやミカンに目掛けて輪投げをする
- 『お年玉さかな釣り』_お菓子の入った袋めがけて釣りのように遊ぶ
- 『おしるこ提供』
- 『大道芸パフォーマンス鑑賞』
- その他(自由記述)

[Q5]

その他、ご要望、ご感想がございましたらご入力ください。(自由回答)



お昼は味噌きりたんぽづくり!

今回のテーマは **“なりきり仮装パーティ”**
仮装グッズを工作して着飾って、おしゃれしてみんなで遊ぼう!

い♪
♡♡
ローカルヒーローもくるよ!

仙北こどもフェスタ

第1回

日 11月13日(日)
時 11:00 ~ 14:00 (開場10:30)

場 あきた芸術村
所 田沢湖ビールホール
(秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田430)

[地図QR]

対象 小学6年生までの子ども、その保護者
(・定員あり(先着100名)
・11/1(火)12:00受付開始)

内容 子育て支援NPOが、いつもと一味ちがった空間へご招待、様々な遊びを提供します。
・子ども向け仮装衣装の貸出
・工作、身体を使うゲーム
・木製遊具、絵本展示
・助産師、保育士による育児相談
・小型エアートランポリン設置
・ローカルヒーロー

お申込は
裏面へ
または

[メールで申込] [WebフォームQR]

[主催] (特非)あきた子どもネット
[後援] 仙北市
[助成] (独)福祉医療機構[WAM]

今回のテーマは

『雪遊びチャレンジ!』

いろんな雪遊びミッションに、みんなで挑戦だーっ!!



おしるこサービス



キャンドルかまくら



いろんな雪遊び



マジックショー開催

仙北こども フェスタ

第2回

日

2023年

1月15日(日)

時

14:00 ~ 16:00 (開場13:30)

場

あきた芸術村

田沢湖ビールホール

(秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田430)

所

[地図QR]



対象

小学6年生までの子ども、その保護者

・定員あり(先着100名)

・12/15(木)12:00受付開始

内容

秋田市の子育て支援NPOが、いつもとちがった空間へご招待、様々な遊びを提供します。

・雪をテーマにした様々レクリエーションと遊び

・おしるこの無料提供

・木製遊具、絵本展示

・室内でミニマジックショー 等

お申込は

[メールで申込] [WebフォームQR]

裏面へ

または

[主催] (特非)あきた子どもネット

[後援] 仙北市

[助成] (独)福祉医療機構[WAM]



3つめの柱

子育てサポート

一人親等への食料支援や学習支援を通して、子育てサポート

- ① 子どもや保護者の居場所や学習場所の提供し、安心して相談できる関係を構築する。

学習支援利用実績は下記の通り

月	曜日（主に土曜日、祝日、長期休み）	実施回数	利用者人数
4月	2日、9日、13日、16日、23日、30日	6回	3人
5月	7日、14日、21日、28日	4回	3人
6月	4日、11日、18日、25日	4回	6人
7月	2日、9日、25日、26日、27日、28日、29日	7回	9人
8月	4日、8日、18日、19日、22日、23日、24日	7回	4人
9月	3日、10日、17日、24日	4回	2人
10月	1日、8日、15日、22日、29日	5回	6人
11月	5日、19日、26日	3回	6人
12月	3日、10日、17日、24日	4回	8人
1月	5日、6日、7日、21日、28日	5回	11人
2月	4日、11日、18日、25日	4回	10人
3月	4日、11日、18日、21日、25日	5回	14人
合計		58回	82人

学習支援事業については秋田県社会福祉会館を会場に、主に土曜日の午後1時～4時まで、学習支援を中心に学習や読書など小学生～高校生の居場所として、提供した。

子育てサポートについて

学習指導員の所見

学習サポーター 草皆新

<ケース①>

中学2年生のAさんは、学習スペース半年通った。小学4年生から授業内容を理解することができず、勉強へのコンプレックスがあるようだ。勉強をしたくないという気持ちではなく、勉強に向き合うが成績につながらないことで、大きな落ち込みを何度も体験したという。

学習スペースのことを知り合いから聞いて、試しにやって来た。数回、来てみて、Aさんは母親に「最近、勉強が楽しい」と話した。Aさんは塾には行っておらず、学習スペースは学校以外で勉強する初めての場所になる。やっていることが同じ勉強でも、学校の先生や親と違う大人、違う教材や本に触れ、角度を変えたら、見方が変わったら、理解できるものがあるのかもしれない。潜在的に勉強内容を獲得できる力はあったとして、それを発揮する、才能を開花する、そのための1つの角度として、学習スペースという場が効用を出せればと思う。

<ケース②>

中学1年生のBさんは、学習スペースに、1年通った。他愛ない会話が苦手なようだ。勉強には題材があるので「計算分野と図形分野は、どちらが好きかな?」と聞いてみる。

「計算分野が好き」「どういうところが好きかな?」「計算の方が分かりやすい」というような、会話をつくる。勉強の別の側面として、勉強をきっかけにした、会話や表現、気持ちを出してみる、そのような経験になるのではないか。勉強の話を経験してから、少しずつ、その他の会話もできるようになった。勉強からコミュニケーションを始め、その子を見守るために必要なことを考えることもできる。

<所見>

家や学校で勉強ができない場合、安心して勉強できるスペースとして、地域の中の1つの資源として、学習スペースが、必要な人に届けられるよう努めたい。

このようなスペースを継続していくために、場があるだけでOKとせず、スタッフは資質向上のため研鑽を怠らず、子どもが安心して、上を向いて歩いていけるよう、支援しなくてはならない。

- ・子どもとの関わり方、しぐさ、声の大きさ、言葉づかい は適切か?
- ・子どもや保護者の状況を把握し、適切な配慮や、適切な社会資源につなげられるようにする。
- ・子どもや保護者の不安を取り除けるよう、安心して来られるような、魅力ある場づくり。

個々の状況に応じた学習支援は、教える技術と共に、場の環境が重要と考える。

「学習支援」という語から、人それぞれが想像するもの、期待するものがたくさんあると思う。円滑、柔軟な場でありたい。特には、心も守る場でありたい。学習を通じたセラピーでありたい。

草皆新

② ひとり親等へのお米など物資提供と居場所・相談事業の開催

学習の場の提供・・・秋田県社会福祉会館において週に2回3時間程度、

学習指導者 講師2名を配置し学習機会を儲ける。

年間参加目標 240人に対して、学習支援利用者 82人、物資提供人数 15人 ×8回=120人

合計利用者 202人

子育てサポートについて





4つの柱

シンポジウム

4の柱立て（子育てシンポジウムの開催による支援の提言）

子育てシンポジウムの開催による支援の提言

支援 NPO と行政の資質向上と支援における課題共有を目的に 9 月 9 日秋田県児童会館けやきシアターにて開催。シンポジウムでは、「子どもの心」「ジェンダー」「妊娠・出産等の性教育」「母子の安心安全」といった四つに焦点を当て、講師が現場で感じている課題意識、打破するために必要となる視点、具体的なアクションプラン等を、登壇者から発表してもらった。

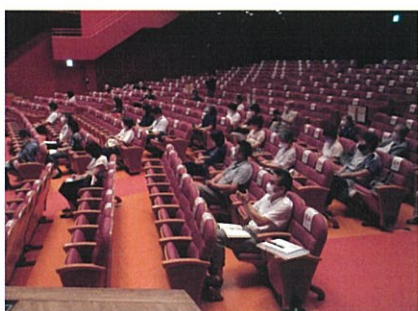
民生委員や社会福祉協議会などの団体と研修を兼ねた協働開催を考えていたが、会場を半年前に事前に抑えていたにもかかわらず、チラシ印刷の遅滞と、福祉関係団体と日時が合わなかったことにより、福祉関係者の参加が得られなかった。また 25 市町村の行政関係者へ案内を送付したが新型コロナウイルス感染症のクラスターが県内各地で出始めその対応のため行政関係者の参加は数人となった。結果として当法人のネットワーク関係者（LGBT 機関、アサーティブ研究会、チャイルドライン相談関係者、県の生涯学習機関関係者など、40 名ほどの参加状況となり、目標値を大きく下回った。

県の医師会会長である小泉先生は自身の医院「秋田子どもの心と発達クリニック」に通院している発達等に不安を持っている子どもたちの話を中心に「子どもの心に寄り添って」と題し、40 分ほどの講演を頂いた。子どもが自分で決めていけるよう無理強いせず、寄り添って応援する大人たちが必要と感じた。

秋田県助産師会の理事である古田由美子氏は、現在中高生を中心に行っている「性教育」の変化と中高生自身がどのような時期に家庭をもち子育てするのか早い段階でイメージづくりしておくことが少子化を防ぐことにつながることや、性犯罪に巻き込まれない予防になることを講演頂いた。

中央男女参画センター指定管理者の「いきいき F ネット」理事長の佐藤加代子氏からは、時代が変わっても男女の家庭や子育てに対する意識が成長せず、ジェンダーに縛られやすいことをグラフ等を使用し日本の現実の男女格差について講演頂いた。

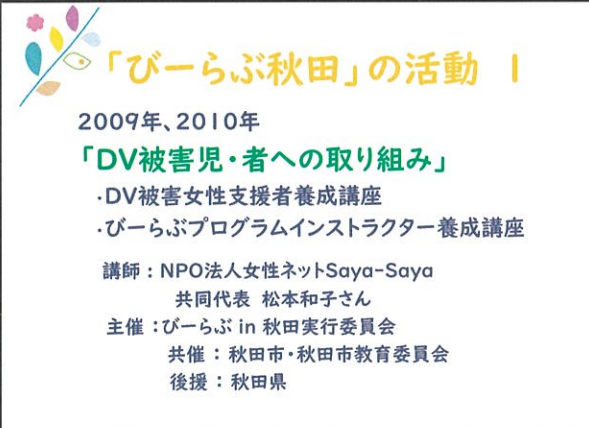
ひとり親支援やDV被害者に対する回復プログラムを実施している「びーらぶ秋田」代表中鉢美之氏は、子育てや夫婦関係のストレス回復のために支援団体の必要性和アプローチの手法など講演頂いた。





「母と子の安心・安全の場所を求めて」
～びーらぶ秋田の実践から～

令和4年 9月 9日
びーらぶ秋田
代表 中鉢 美之

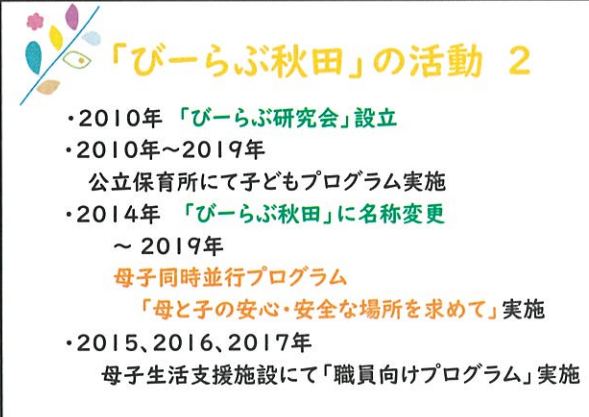


「びーらぶ秋田」の活動 1

2009年、2010年
「DV被害児・者への取り組み」

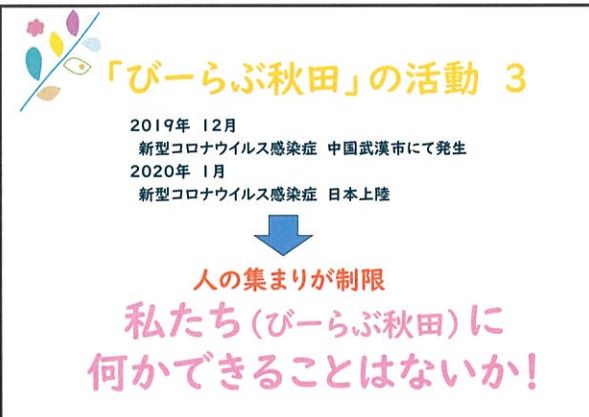
- ・DV被害女性支援者養成講座
- ・びーらぶプログラムインストラクター養成講座

講師：NPO法人女性ネットSaya-Saya
共同代表 松本和子さん
主催：びーらぶ in 秋田実行委員会
共催：秋田市・秋田市教育委員会
後援：秋田県



「びーらぶ秋田」の活動 2

- ・2010年 「びーらぶ研究会」設立
- ・2010年～2019年
公立保育所にて子どもプログラム実施
- ・2014年 「びーらぶ秋田」に名称変更
～2019年
母子同時並行プログラム
「母と子の安心・安全な場所を求めて」実施
- ・2015、2016、2017年
母子生活支援施設にて「職員向けプログラム」実施



「びーらぶ秋田」の活動 3

2019年 12月
新型コロナウイルス感染症 中国武漢市にて発生
2020年 1月
新型コロナウイルス感染症 日本上陸

↓

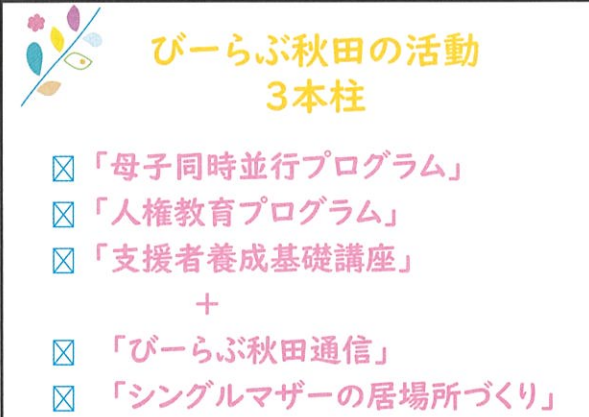
人の集まりが制限
私たち(びーらぶ秋田)に
何かできることはないか!



☑手づくりマスクと
お手紙を送る

☑「びーらぶ秋田通信」
2020年 4月 第1号発行

☑「シングルマザーの居場所づくり」

びーらぶ秋田の活動
3本柱

- ☑ 「母子同時並行プログラム」
- ☑ 「人権教育プログラム」
- ☑ 「支援者養成基礎講座」

+

- ☑ 「びーらぶ秋田通信」
- ☑ 「シングルマザーの居場所づくり」

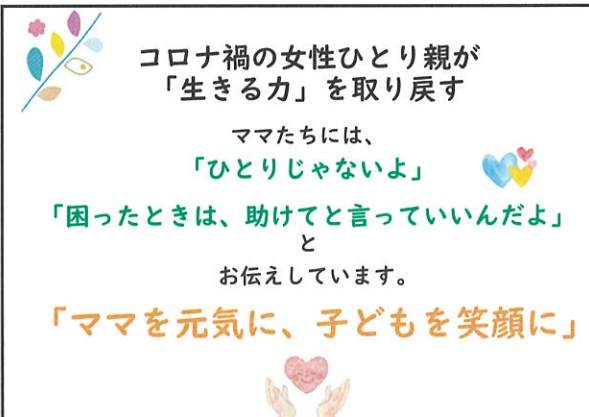


参加費 無料
託児料 無料 (要申込)

シングルマザーの
居場所づくり 2022

第1回目 7月10日(日) 「農業収穫体験」	第2回目 7月31日(日) 「ゆかた着付け教室」	
第3回目 9月11日(日) 「フラワーアレンジメント教室」	第4回目 12月4日(日) 「クリスマスお楽しみ会」	第5回目 R5. 1月(日)予定 「お料理教室」

* 毎回、「びーらぶプログラム」と「シンママのお役立ち情報提供」を行います




コロナ禍の女性ひとり親が
「生きる力」を取り戻す

ママたちには、
「ひとりじゃないよ」

「困ったときは、助けてと言っていていいんだよ」
と
お伝えしています。


「ママを元気に、子どもを笑顔に」



子育てシンポジウム～少子化の未来～
!""#\$% %

%

「子どもの心に寄り添って」



秋田こどもの心と発達クリニック
小泉ひるみ

■ 子どもの心に寄り添うこと

①こどもの気持ちをちょっと
こどもの気持ちを汲み取
ション)

子どもの言い分、言い訳、主張は一旦聞いて

②周囲の対応についてちょっとしたアドバイスを
こなう

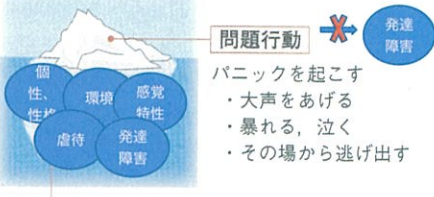
- ・関係性について（北風と太陽など）
- ・リフレーミングの手法を使ってみる
- ・ペアレントトレーニングの手法

③ネガティブな気持ちが言語化できるお手伝い

- ・まずは、代弁してみる
- ・オープンダイアログの対話を活用してみる

秋田こどもの心と発達クリニック 小泉ひるみ

■ 問題行動がある場合は...
氷山モデルで考える。



問題行動

発達障害

パニックを起こす

- ・大声をあげる
- ・暴れる、泣く
- ・その場から逃げ出す

原因

- ・うまく要求が伝わらない
- ・いやなことをいやと言えない
- ・がまんできない音が聞こえる

秋田こどもの心と発達クリニック 小泉ひるみ

それでもやらない、やれない場合...
静かめに、提案をおこなう。

メンタライジング

「自分だけ、やれないのが、恥ずかしいのかもしれない」
「感覚過敏があって、無理なのかもしれない」

場所をかえる 時間をかえる 内容や立場をかえる

※どうしてもやれない子も、「先生の助手さん」等で、参加できる場合があります。

※「苦手でしょうから」と、特性を大事にしすぎて「やらなくていい」にしないことも、大事。

秋田こどもの心と発達クリニック 小泉ひるみ

■ 「感情」の分化

	0歳	1歳	2-4歳	5歳～思春期
不愉快			恐れ	恐れ、心配
			怒り	嫉妬、怒り、羨み、失望
			不愉快	不愉快、嫌悪
興奮		興奮	興奮	興奮
愉快			愛情	愛情、子の愛情(甘え)
			喜び	望み、喜び、大得意
			愉快	愉快

秋田こどもの心と発達クリニック 小泉ひるみ

■ 感情面から行動へのアプローチ

***まずは言語化が大事！**

*例「感情のコントロールができない」「かんしゃく」

ネガティブな気持ちのコントロール

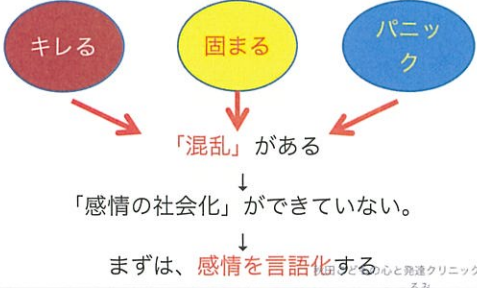
↓

ネガティブな気持ちを安全にかかえて、処理できるようにする

大事なことは、まず、「ネガティブな気持ちがあってもいいんだよ」「ネガティブな気持ちも大事」「だれでも、そういうとき、嫌な気持ちでおこるよ」

秋田こどもの心と発達クリニック 小泉ひるみ

「キレル」「かたまる」「パニックをおこす」
子への対応のヒント



キレル 固まる パニック

「混乱」がある

↓

「感情の社会化」ができない。

↓

まずは、感情を言語化する。

秋田こどもの心と発達クリニック 小泉ひるみ

今こそジェンダー平等の視点を

NPO 法人いきいき F ネット秋田 佐藤 加代子

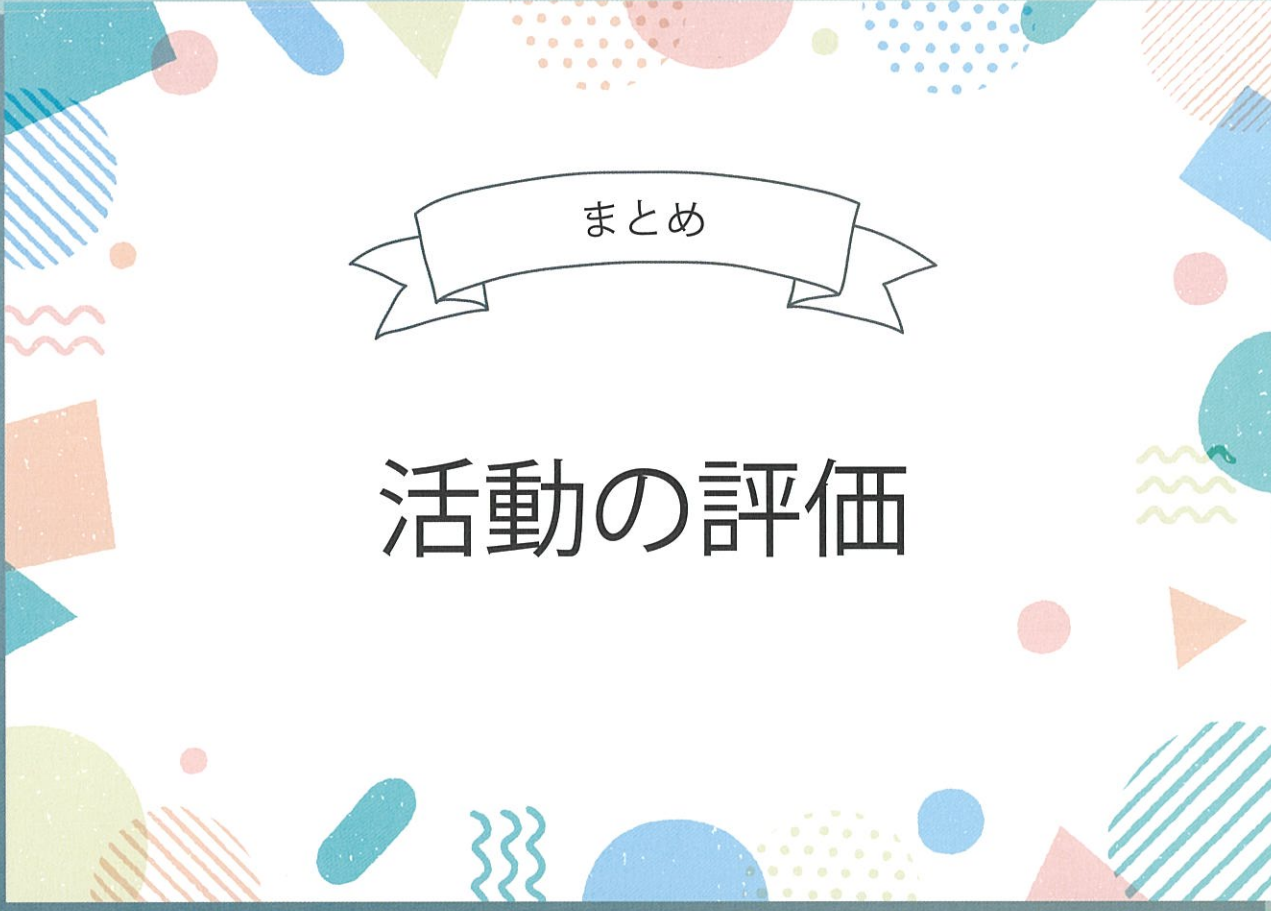
国は、1999年に男女共同参画社会基本法を施行しました。

その推進拠点として、秋田県では北部、南部、中央と3つの男女共同参画センターがあります。英語では、Gender Equality Center といいます。

きょうは、ジェンダーについて確認をし、子育てに及ぼす影響やこれからの社会の在り方について提言をさせていただきます。

ジェンダーとは、社会的文化的性差で、固定的な性別役割分業や性別規範のことです。今、社会ではさまざまなジェンダー不平等があります。ジェンダー問題の課題は、多岐に渡りますが、本日は、子育てや子どもを取り巻く家庭環境について、考えたいと思います。

- 子どもの時からジェンダー平等教育を
人は生まれた時からジェンダーのシャワーをあびています。
- ジェンダーについて学ぶ機会をつくる
ジェンダーの再生産をしないために、大人も学ぶことが必要です。
- 自分の生きづらさを語る場をつくる
女性は自分を過小評価し、男性は他者の過大評価にさらされるため、自己肯定感に影響があります。そのため、生きづらさを抱えてしまうことがあります。
- 人と同じでなくても良い社会を目指そう。
人は一人ひとり違います。性別は同じように見えてもひとくくりではありません。
- 選択肢の多い社会が豊かな社会
人生の多様化に伴い、誰もが自分の意志で選択できるように、受け皿もまた多いほうがいい。
- 依存から自立へ
依存するための結婚ではなく、自立した人と人が結婚する社会に。
- 政策として予算化すること



まとめ

活動の評価

子育て中ママA

妊娠を機に専業主婦になったが、おむつ代・ミルク代は予想以上の出費でパートナー（夫）は残業、休日出勤が続き子どもと関わる時間がほとんどない、毎日成長していく我が子はとてもかわいいが子どもの世話を朝から晩まで、つきっきりで看ていると気持ちが不安定になり泣けてくる。「少しは子どもと関わって面倒見て」といっても休日は寝てばかりで怒りを覚える。祖父母は「家族のために頑張っているんだから感謝しないと」と夫の肩を持つ。自分に誰も味方してくれないと思うと、死にたい衝動に駆られてしまう。

子育て中ママB

二人目を出産し育休も終わり保育園に預けて共働きしている。

子どものお迎えは主に母親がしている。仕事の打ち合わせで遅くなるので、前の日から夫に子どもの迎えを頼んでいたが、夕方「急な会議が入り迎えに行けない」と夫からメール連絡が入り不通話状態になる。打ち合わせの関係者5、6人に頭を下げ回り、閉園ギリギリに子どものお迎えを終え家に着くと、夫から「会議が終わったのでこれからお迎え行きます。」とメールが入り、怒りが収まらない。

子育て中ママC

初めての出産1年後、転職をして週3日在宅ワーク・2日出社の仕事に切り替えた。夫は課長に昇進した途端、帰宅は午後10時過ぎ、休日も仕事に行く忙しさ。大手飲料メーカーに勤務しているのに育児中の父親の代わりがないはずはない。この国の育児休暇はどうなっているのか疑問ではない。



マッサージモニター後のティータイムではワンオペの育児から少し解放され、和気あいあいと話が弾んだ。

宿泊モニターでは、夕食や朝食時の兄弟を含む託児や遊びで参加した保護者が久しぶりにゆっくり食事が出来たと全員満足したとの感想だった。ゆっくりする時間が欲しいは育児者全員の要望だと実感した。

1つの場所に長くいれない発達に課題のある子どもにとっては畑など外での体験が有効だった。種から育てていく植物に関心があり、長く集中できていた。

親同士の交流が少ない父子家庭の父親などは学習を通して家庭での養育不安など相談出来ることから学習支援を機会の一つとして呼び込むには有効であった。

年度内で2回実施した「仙北こどもフェスタ」では子ども対象のイベントの少ない地域を選び、普段体験できない非日常体験を計画に入れた。多数の親子や見学に来た行政も満足した様子だったが、コロナ過でもあり、3組の親からは換気や密な接触など留意点を指摘する声があった。(アンケート集計に明記)

「子ども・子育て世代への応援事業」を終え、親たちの子育て中の頻拍した心理状態や虐待の一手手前でギリギリの子育てをしている育児者がかなりの数いることがわかった。

ストレスをため込まないための施策として、

1. 子どもと遊んでくれる人や場所が必要
2. 子どもと愛情のある関係を続けるための休息や家事代行、信頼のおける相談者が身近にいること
3. 子ども同士がけんかしたり、仲良く協力し合ったりできる環境設定
4. 産前産後を通して幼児期まで相談できる助産師等を自分で選べる
5. 男女を問わず育休や時短勤務を義務化する。(その間の所得は自治体レベルで保障する)



秋田で楽しむ「子育て支援リゾート」事業企画イメージ

【現状課題】 と 【解決策】

心も体も休まらない子育て世帯

- ・核家族化
- ・保護者の長時間労働
- ・共働き世帯の増加
- ・地域コミュニティの弱化
- ・ひとり親世帯の増加
- ・厳しくなる世間の目

解決に必要なのは・・・

「当事者意識」と「専門性」ある人達でつくる

安心できる居場所

親子ともに心も体も休まる空間

親子が「健やかに」「楽しく」過ごせるような社会を、秋田から！

【事業内容】

[内容①]子育て負担軽減のための支援

- ・相談支援
- ・一時預かり
- ・訪問支援
- ・ショートステイ
- ・コミュニティづくり

[内容②]子育てを楽しむための支援

- ・食事支援
- ・学びの場の提供
- ・イベントの実施
- ・体験活動の提供

【目指す姿】 と 【想い】

心身ともに健やかに楽しく子育てできるような
どの発達段階でも途切れることのない様々な支援に恵まれた社会へ



発行年月日：令和5年5月

発行者：特定非営利活動法人あきた子どもネット

所在地：秋田市寺内大小路2-38

デザイン協力：桐谷デザイン事務所